

地元のケーブルテレビ局と番組を制作し地域住民の健康維持・増進を目指す



カテゴリー：④地域連携

富士吉田市立看護専門学校、山梨県富士吉田市上吉田 5606-18、3年課程、1学年定員数 50 名、修業年限 3 年
 ≪学校概要≫

自校は、地域住民の保健医療福祉の充実と向上の一翼を担う有能な看護師を育成することを目的に平成 8 年に設立された山梨県唯一の公立の看護専門学校である。進学者のほぼ全員が山梨県内に、そのうち 6 割が富士吉田市（富士山を中心とした豊かな自然環境に恵まれた市で 2020 年の人口は約 4 万 6 千人、労働力人口 58.6%、高齢化率 30.0%である）を含む富士・東部地域（人口 17 万人）の医療圏に就職しており、自校の果たす役割は大きい。

≪番組制作の経緯≫

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行に伴い教職員の「自分たちに何かできないか」という思いから、2020 年 6 月に富士吉田市を主なサービスエリアとするケーブルテレビ局の（株）CATV 富士五湖（以下、CATV）と番組を制作した。初回は、「手洗い&熱中症予防～コロナに負けるな！洗い残しを探せ～」で、手洗いチェッカーを活用した手洗いや、速乾性アルコール消毒薬の正しい使用方法を実演した。

≪番組制作の概要≫

現在 4 年目を迎え、地域住民の健康維持・増進が目的になり「看護学校からお届け！」と題しシリーズ化している。番組は、教員 1 名とボランティア学生 2～3 名、CATV の担当者 2 名で毎月、撮影している。撮影時間は 1 時間で、放映時間は約 7～10 分（2 日間/月）である。番組の構成は担当する教員が考え、主に学生が実演する。昨年度から、訪問看護ステーションの看護師や市役所の保健師にも出演して頂いている。

番組タイトルは、次である。なお、2023 年度 8 月以降は予定である。

年度	放映	番組タイトル	年度	放映	番組タイトル
2020	7月	手洗い&熱中症予防～コロナに負けるな！洗い残しを探せ～	2022	6月	愛情たっぷり！離乳食
	8月	フットケア ～知っておきたい爪の切り方～		7月	夏をのりきろう！熱中症とその予防
	9月	沐浴の今と昔～おじいちゃんおばあちゃん必見！～		8月	採血のあとの止血はどのくらい？
	10月	高齢者の転倒予防① ～転倒の原因を探れ！～		9月	私の“怒り”をコントロール
	11月	高齢者の転倒予防② ～転倒予防のための対策編～		10月	看護学生のお弁当選手権！～バランスのよい食事～
	12月	皮膚の保湿 ～冬。乾燥に負けない！～		11月	テントウボウシ～転ばないまち ふじよしだ～
	1月	湯たんぽの使い方 ～低温火傷を予防する～		12月	看護師にきこう！訪問看護のお仕事！ ※訪問看護ステーションと協同
	2月	薬の飲み方～子どもが嫌がる薬。あなたはどうか飲ませる？		1月	危険 心筋梗塞！雪かき後に脱水予防していますか？
	3月	点眼の方法 ～薬の効果を得るために～		2月	医師にきこう！肝臓病の予防とその治療 ※校長と協同
	2021	4月		睡眠が重要！～良い睡眠でからだも心も健康に～	2023
5月		毎日の血圧 正しく測ろう！	4月	いこう！つづけよう！乳がん検診	
6月		正しい歯の磨きかた！	5月	ストップ！骨粗鬆症	
7月		ストレスとは？	6月	オーラルケア ※健康長寿課と協同	
8月		上手にストレスと付き合う！	7月	熱中症予防	
9月		幼児を危険から守れ！	8月	見てみようあなたの周りに潜む菌！※微生物学講師と協同	
10月		転倒予防	9月	子宮がんワクチン接種のすすめ	
11月		脱メタボリック！10年前のズボン履けますか？	10月	テントウボウシ～転ばないまち ふじよしだ～	
12月		ヒートショックにご用心！正しいお風呂の入り方	11月	ウォーキングの正しい方法	
1月		今日からできる便秘予防！	12月	火傷の対処方法	
2022	2月	生命の誕生！	1月	訪問看護のお仕事 第二弾 ※訪問看護ステーションと協同	
	3月	災害への備えは万全に！	2月	節酒のすすめ	
	4月	本当に怖いタバコの話！	3月	バランスの良い食事を摂ろう！	
	5月	元気に生活！健康寿命を伸ばそう！	2024	4月	歌うことは、元気の源！ ※元高校教師（音楽）と協同

≪地域貢献の成果と今後の展望≫

番組を視聴している地域住民から「毎回楽しみに見ているよ」「湯たんぽは足から少し離すんだね」「番組をみて『やっぱり血圧を測ったほうがいいな』と思って毎日測っています」などの感想を聞く。山梨県の健康寿命は、男女ともトップクラス。番組を通して、身近な暮らしから健康維持・増進のための予防行動を地域住民に伝えていくことは、富士吉田市が目指す「安心して健やかな暮らしを支える『保健・医療・福祉』の向上」の大きな一助となることを感じている。学生たちは「テレビにでると祖父母が喜ぶ」「祖父母が親戚の集まりで毎回番組を嬉しそうにみせている」等と話す他、番組の出演を通して学習や予防行動の重要性を理解する機会になっている。また、教員にとっても番組制作は、企画力や表現力などの資質向上につながっている。



魅力ある学校紹介

～公式マスコットANSちゃんとともに～

カテゴリー：⑤その他（広報活動）

学校概要：明石医療センター附属看護専門学校
（兵庫県明石市大久保町八木743-33）

課程名：3年課程

1学年定員数：40名 修業年限：3年



ANSちゃん誕生

18歳人口の減少・大学志向により、看護専門学校の受験者数が減少しており当校もその状況に苦慮していました。2020年コロナ禍でオンラインオープンキャンパスの準備をすすめる中で、スクールカラーである水色の白衣を纏った妖精が誕生しました。その名はANS（あんす）ちゃんです。

2021年10月にNHK人気番組「サラメシ」の取材を受けたことで、全国から学校や学生へのエールを頂いたことを機にオンライン発信に火がつけました。

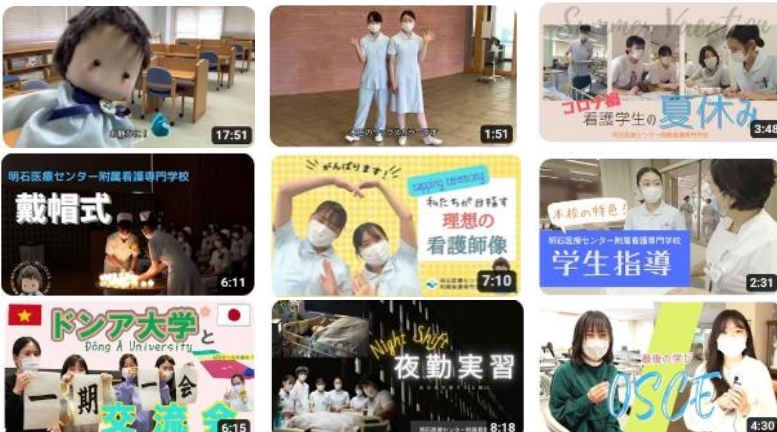
YouTube「夜勤実習」が 再生回数15万回を超えた！

2020年7月に明石医療センター附属看護専門学校YouTubeチャンネルを開設しました。毎年動画のコンセプトを決めて配信しています。

2020年「学校を広く知ってもらおう」～ANSちゃんによる学校案内や学校概要、講師紹介、ユニフォーム紹介等の動画を配信しました。

2021年「入学後の学校生活」～授業風景、戴帽式、学生指導の様子を配信しました。

2022年「独自のカリキュラム」～夜勤実習、ドンア大学看護学生との国際交流等、学びをより深く掘り下げた内容の動画を配信しました。特に、2022年12月に配信した「夜間実習」は再生回数が15万回を超えました。今までに30本の動画を公開し、受験生のみならず、学生や病院職員から多くの“いいね！”やチャンネル登録をいただいています。



看護の日記念行事 折り鶴アートを制作



学生のANSちゃん「愛♥」が溢れすぎて、2023年5月の看護の日記念行事には折鶴を用いたANSちゃん壁画アートを作成しました。

受験者数1.4倍増

このような魅力ある学校紹介を発信した結果、2023年度入学試験の受験者数は昨年度の1.4倍に増えました。

これからも、「この学校で学びたい」と思えるような本校の魅力が伝わる広報活動を目指します。

明石医療センター附属看護専門学校
YouTubeチャンネル ▶▶▶▶▶



ナイチンゲール平和の灯運動 ～世界平和を祈り、看護の心をつなぐ～

カテゴリー：④連携（地域・看護学校間）



学校概要

学校名：専門学校 北九州看護大学校
所在地：福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 10-15
課程名：3年課程 1学年定員数：40名 修学年限：3年

内容

<ナイチンゲール平和の灯運動とは>

被爆直後の広島で採火された「平和の灯」が灯り続ける「ヒロシマ原爆の残り火」を「ナイチンゲールの灯火」として第二の原爆投下予定地であった北九州市から実際に投下された長崎へ看護学生が徒歩で平和の想いをつなぐ運動。戦争の悲惨さを風化させることなく、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現促進への小さな一歩になることを念願し、西南女学院大学 教授 中島俊介先生の呼びかけで2021年8月から自校が出発校となりスタートした。

<参加校と運動日程>



- ・歩く道りは決して楽ではなかったが参加して自分の中で看護についてももう一度考えることができた。
- ・「戦争を繰り返したくない」という私たちの熱い想いは灯火とともに後輩に受け継いでいきたい。
- ・友人と一緒に歩いたことで絆が深まったと感じた。また地域の人から声をかけてもらえ頑張れた。
- ・最初は歩くことにどういう意味があるのかわからなかったが、現在も戦争があっている中で多くの人に救いの手を差し伸べたナイチンゲールの話聞き、私たち看護学生が灯をつないで歩くことの意味がわかった。

<参加学校、教員の想いと願い>

- ・コロナ禍でイベントを経験できない学生に何かをやり遂げる経験をしてほしいという思いで参加した。歩き終えた学生の表情は清々しく良い経験となった。
- ・看護学生は将来、人の命と密接にかかわります。この運動を通し生や死、人生、平和について深く考えることは看護観、心を育てる肥しになったと感じる。
- ・平和の灯をつなぎながら「平和」「命の尊さ」そして現在看護の礎、ナイチンゲールの意思・看護の使命について考える機会となり、学生各々が自主性、誠実、信頼、探究、自己洞察などについて何かしら感じとり自己成長につながった。
- ・平和を願う想いは看護に通じるものです。この運動を通し、当たり前の日常の有難さ、感謝、達成感、チームワーク、絆・様々な学びと感性を育むきっかけをいただきました。

<今後の展望>

今年8月に第3回「ナイチンゲール平和の灯運動」が福岡・佐賀・長崎9校の看護学校が参加し開催される。年々、参加校が増え学校間の連携等、これからの課題はあるが小さな一歩の行動・実践が大きな変化を促すことを信じ、平和への祈りと看護の心を育む、この運動の定着と拡大のために今後も最大限の支援をしていきたい。

<参加学生の想いと願い>

- ・自分たちが与える影響はとても小さく狭いものだが、運動を通して一人でも多くの人が戦争の歴史に関心をもってくれれば命の大切さにつながる。
- ・この経験をいかし、当たり前のことが当たり前ができない中でも「命の大切さ」を大事に考えた看護ができるようにしたい。

